

キーワード（新感染症の基礎知識「筒井書房」から）

流水に勝る消毒剤はない

感染が起こるのは、菌の数が一定量を超えた時。
菌数を減らすことが感染防止につながる。
流水で菌を洗い流すことは、最も身近で有効な感染防止対策。

手洗いを確実な方法で

できるだけ石鹸を使う。
流水下で強めにもみ洗いすれば短時間でほとんどの菌は除去できる。

もみ洗いの基本

- 1・手のひらをよくこする
- 2・手の甲をこすり洗い
- 3・指先を入念にこする（爪先）
- 4・指の間を十分に洗う
- 5・親指と手のひらをねじり洗い
- 6・手首も洗う

消毒剤使用時

消毒剤を使うときにも、
まず流水で洗ってから使ったほうが効果的。

疥癬について

疥癬（俗称・ひぜん）とは

1. タニの一種である疥癬虫（ヒゼンダニ）による皮膚病です。
2. 小さな赤いブツブツができ、激しいかゆみを伴います。
3. 皮膚の柔らかい部分（指の間・脇の下・下腹部・陰部など）が要注意です。
4. 手や指に細い線状の溝ができ、その中にヒゼンダニのメスが住み産卵します。

感染予防のための基本的事項

1. 感染経路は、
 - ・皮膚に直接ふれることによる場合
 - ・汚染した衣服や布団などによる場合
2. ヒゼンダニは50度以上の温度で死滅する。
3. 身体から離れて、衣服や器具についたヒゼンダニは、24時間くらいで死滅する。

在宅での注意事項

1. 皮膚などに直接ふれてもすぐに流水と石鹸で洗えば大丈夫です。
2. 入浴や清拭で身体を清潔にした方が早く治ります。
使用後のタオルは熱湯をかけるか、洗濯後に乾燥機をかけると清潔です。
浴槽を熱湯消毒しておきます。
3. 衣服・シャツ、予防衣などは熱湯消毒後に洗濯するか
洗濯後に乾燥機にかけましょう。
4. 布団や毛布は日光消毒をしておきましょう。
5. ゴミや廃液などの処理は通常通りでかまいません。
6. 部屋は換気により湿気を除き、掃除機で十分に掃除しましょう。
7. 手洗いは常にしましょう。

いずれにしても、すぐにドクターに相談しましょう。